

製品名: CRSP70 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09426**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	MED26 MED26; ARC70; CRSP7; Mediator of RNA polymerase II transcription subunit 26; Activator-recruited cofactor 70 kDa component; ARC70; Cofactor required for Sp1 transcriptional activation subunit 7; CRSP complex subunit 7; Mediator complex subu
別名	
遺伝子 ID	9441.0
SwissProt ID	O95402
免疫原	抗血清はヒト MED26 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

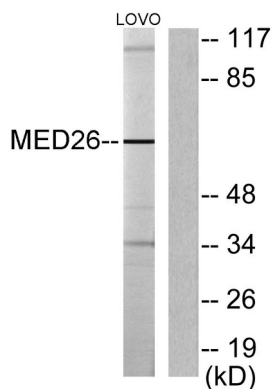
遺伝子転写の活性化は、DNA 中の転写エンハンサー部位を認識する因子によって引き起こされる多段階のプロセスです。これらの因子は、コアクチベーターと連携して、RNA ポリメラーゼ II 装置による転写開始を誘導します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CRSP (SP1 活性化に必要なコファクター) 複合体のサブユニットであり、TFIID とともに、SP1 による効率的な活性化に必要です。このタンパク質は、甲状腺ホルモン受容体 (TR) 関連タンパク質など、TR と相互作用し、開始因子やコファクターと連携して DNA テンプレート上で TR の機能を促進する他の多サブユニット複合体の構成要素でもあります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

機能: メディエーター複合体の構成要素であり、ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の転写制御に関与するコアクチベーターです。メディエーターは、遺伝子特異的な制御タンパク質から RNA ポリメラーゼ II 転写機構へと情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般的な転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。、類似性:メディエーター複合体サブユニット 26 ファミリーに属します。、類似性:1 つの TFIIIS N 末端ドメインを含みます。、サブユニット:メディエーター複合体の構成要素であり、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低くなります。1 つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標品は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれています。

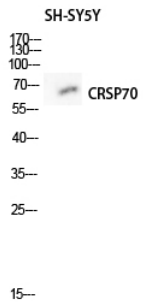
研究分野

-

画像データ



MED26 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CRSP70抗体を用いた SH-SY5Y の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。